

入 札 公 告

国立大学法人筑波大学において、下記のとおり一般競争入札に付します。

記

1 競争入札に付する事項

- (1) 調達件名 ゲル浸透クロマトグラフシステム 一式(リバースオークション対象案件)
- (2) 規格及び数量 詳細は仕様書のとおり
- (3) 納入期限 令和8年3月23日
- (4) 納入場所 国立大学法人筑波大学共同研究棟D301-2プロジェクト室

2 仕様書、契約条項並びに入札の説明等をする日時及び場所等

本件は、仕様書等関係書類の交付をもって当該説明を省略する。

仕様書等関係書類は、リバースオークションシステム（見積@Deeを指し、以下「システム」という。）上にて配布するので、本件の入札に参加を希望する場合は、以下のシステムにログインし、当該案件（上記1(1)の調達件名）を検索の上、当該案件情報からダウンロードすること。なお、この競争に参加できる者は、以下に示す競争参加に必要な資格を有する者で、かつ、システムの登録手続きを事前に済ませた者に限られるので、以下のホームページを確認の上、登録手続きを行うこと。

仕様書等関係書類交付場所

システム：<https://dem3.deecorp.jp/supplier/>

新規会員登録：<https://dem3.deecorp.jp/supplier/index.php?mode=SENDMAIL>

本件本学担当：国立大学法人筑波大学財務部契約課契約第三担当

（電話番号 029-853-5628）

3 競争参加資格の確認のための書類等の提出期限等

- (1) 提出方法 システム（<https://dem3.deecorp.jp/supplier/>）上にて提出
- (2) 提出期限 令和7年12月23日 17時00分

4 同等品以上のもので参加する場合の取扱い

同等品以上のもので参加を希望する場合は、仕様書に従い同等品以上であることを証明できる書類等を「リバースオークション入札の注意事項」により提出する必要がある。本学が同等品以上と認めた場合のみ参加することができる。

5 入札の日時及び方法等

本件の入札はリバースオークション方式（インターネット上で安値で競り合う競り下げ方式）で行う。

詳細は「リバースオークション入札の注意事項」を参照のこと。

システム：<https://dem3.deecorp.jp/supplier/>

6 入札方法

落札決定に当たっては、入札した金額に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札すること。

7 競争に参加する者に必要な資格

- (1) 国立大学法人筑波大学財務規則施行規程第46条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 国立大学法人筑波大学財務規則施行規程第47条の規定に該当しない者であること。
- (3) 国の競争参加資格（全省庁統一資格）又は国立大学法人筑波大学の競争参加資格のいずれかにおいて令和7年度に関東・甲信越地域の「物品の販売」の「A」、「B」、「C」又は「D」等級に格付けされている者であること。
- (4) 契約担当役から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。

8 入札保証金及び契約保証金
免除する。

9 契約書の作成
契約締結に当たっては、契約書を作成するものとする。

10 落札者の決定方法

国立大学法人筑波大学財務規則施行規程第53条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を交渉権者とする。

以上公告する。

令和7年12月12日

国立大学法人筑波大学
契約担当役
財務担当副学長 氷見谷 直紀

リバースオークション入札の注意事項

1. リバースオークション入札の手順

競争は、リバースオークションシステムを利用した、電子入札方式で実施する。参加に当たっては、システムの登録手続きが必要なため、以下のホームページを確認の上、登録手続きを行いシステム上にて入札すること。

1.1 利用システム

ディーコープ株式会社：<https://dem3.deecorp.jp/supplier/>

新規会員登録：<https://dem3.deecorp.jp/supplier/index.php?mode=SENDMAIL>

※システムの登録手続きは、必要な書類をディーコープ株式会社で受理後、数日を要するため注意すること。登録料は無料。

1.2 リバースオークション参加資格

入札公告に示す競争参加に必要な資格を有する者で、かつ、上記利用システムの ID 等の登録を事前に済ませた者に限られる。さらに、システム上において案件毎に競争参加の意思表示をする必要がある。

1.3 リバースオークション参加手順

本競争に参加を希望する者は、システム上において2回入力する（1回目は、「競争参加の意思表示及び必要書類を提出」し、2回目は、「入札金額の入力」）必要がある。手順は、以下のとおりとなるので、熟読の上、競争に参加すること。

1.3.1 【1回目】

1回目は、競争参加を希望する者が参加意思を表明するために行う。本競争に参加を希望する者は、後記「7.」に示す、

① 競争参加資格の確認のための書類

② 納入できることを証明する書類

（①と②を併せて以下「競争参加者の確認書類」という。）を、後記「7.」に記載の期日までにシステム上において提出することで、競争参加の意思を示さなければならない。ただし、例示品と同等品又はそれ以上のもので参加を希望する場合には、

③ 競争参加資格の確認のための書類

をシステム上で提出することに加えて、

④ 納入できることを証明する書類

⑤ 提案物品が例示品と同等品又はそれ以上であることを証明する書類

を、後記7. に記載の期日までに必要部数を紙媒体にて提出すること。

本学が参加を認めた場合、競争に参加することができる。その際は、システム上にて「参加確定」を通知するので、競争参加を希望する者は、「参加確定」通知を受理した場合のみ、2回目の「入札金額の入力」を行うことができる。

※注意事項

- ・システム上で、上記の書類を提出するためには、「参加申込」をチェックし、ファイルを添付の上、「申請」ボタンを押下して提出しなければならない。
- ・「参加確定」の通知は、本学での審査が完了してから行う。なお、審査には数日から1週間程度要する場合がある。

1.3.2 【2回目】

「入札金額の入力」は、1.3.1の書類提出後、合格（「参加確定」通知を受理した者）した

者のみを対象に、システム上にて金額を入力することで入札を行うものとする。

※注意事項

- ・「入札金額の入力」は、「入札提出画面」の「入札総額」欄に金額を入力し、「入札内容確認」ボタンを押下し、「入札内容確認画面」で内容を確認した上で「OK」ボタンを押下し、入札金額を確定すること。システム上にて入力確定された金額を入札価格とするので、システム上での見積書の提出は、不要とする。
- ・「入札提出画面」の「入札総額」欄には、既に入札がある場合は「入札第1位」の金額が表示され、自社が第1位の入札者の場合は王冠が表示される。「入札第1位」の欄に、王冠が表示されていない場合は、自社が1位ではないので注意すること。

2. 入札開始日時：本学が入札への参加を認めた競争加入者のみに通知

3. 入札締切日時：令和8年1月23日 11時00分（自動延長なし）

4. 落札決定に当たっては、入札した金額に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった金額の110分の100に相当する金額を入札すること。

なお、予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって入札をした者を、契約の交渉権者とする。

5. いったんシステム上で確定された入札金額は、取消しをすることができないが、入札締切日時前であれば何度でも安価な金額に更新することができる。

6. 落札決定の日から7日以内（契約の相手が遠隔地にある等特別の事情があるときは、指定する期日）に契約書の取り交わしをするものとする。

7. 競争加入者等に要求される事項

この一般競争に参加を希望する者は、競争参加者の確認書類を下記の期日までに提出すること。例示品以外の物品で入札に参加を希望する者は、提案物品が例示品と同等品又はそれ以上であることを証明する書類を競争参加者の負担において作成し、競争参加者の確認書類と併せて提出すること。なお、本学職員から当該書類その他入札公告において求められた条件に関し、説明を求められた場合には、競争加入者又は代理人の負担において完全な説明をしなければならない。

①競争参加資格の確認のための書類 …システム上にて提出

- ・令和7年度の資格審査結果通知書
（全省庁統一資格又は国立大学法人筑波大学の競争参加資格）の写し

②納入できることを証明する書類…システム上にて提出（例示品以外の物品で入札に参加を希望する場合は紙媒体で提出すること。）

- ・代理店証明書（販売代理店が参加する場合）・・・・・・・・・・・・・・ 1部
- ・定価（価格）証明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部
- ・納入実績表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部
- ・参考見積書（別紙留意事項を確認の上作成）・・・・・・・・・・・・・・ 1部
- ・アフターサービス・メンテナンスの体制表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部

- ・外国製品による場合は次の書類・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 部
 - (1) インボイス等仕入原価及び諸掛を明らかにした書類（写）
 - (2) 上記(1)の書類を提出できない場合は、輸入元（販売総代理店を含み、国内販売価格を設定している企業）からの、「インボイス等輸入関係書類の不提出理由書」

③例示品と同等品又はそれ以上であることを証明する書類 …紙媒体にて提出

- ・仕様書に示す技術的要件の項目に応じて入札機器の性能等を数値又は、
具体的な表現で記載した技術仕様書・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 部
- ・提案物品全てのカタログ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 部

※注意事項

上記提出書類のほか、補足資料の提出を求める場合がある。

■提出期限

令和 7 年 12 月 23 日(火) 17 時 00 分

■提出場所

〒305-8577 茨城県つくば市天王台一丁目1番1
 国立大学法人筑波大学財務部契約課契約第三担当
 電話番号：029-853-5628

8. その他

この契約に必要な細目は、以下によるものとする。

- ・国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則
<https://www.tsukuba.ac.jp/about/disclosure-ho-kisoku/s-03/>
- ・物品供給契約基準
<https://www.tsukuba.ac.jp/about/bid-contract/#kijun>

技術審査申請書

国立大学法人筑波大学 御中

印

下記の入札に関し、関係書類を提出しますので技術審査願います。

記

1 入札の件名

ゲル浸透クロマトグラフシステム 一式

2 添付書類

- ・仕様書に示す技術的要件の項目に応じて入札機器の性能等を数値又は、
具体的な表現で記載した技術仕様書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3部
- ・提案物品全てのカタログ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3部
- ・代理店証明書（販売代理店が参加する場合）・・・・・・・・・・ 1部
- ・定価（価格）証明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部
- ・納入実績表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部
- ・参考見積書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部
- ・アフターサービス・メンテナンスの体制表・・・・・・・・・・ 1部
- ・外国製品による場合は次の書類・・・・・・・・・・ 1部

(1) インボイス等仕入原価及び諸掛を明らかにした書類 (写)

(2) 上記(1)の書類を提出できない場合は、輸入元（販売総代理店を含み、国内販売価格を設定している企業）からの、「インボイス等輸入関係書類の不提出理由書」

以上

【提出資料に対する照会先】

会社名・所属：

担 当 者 名：

連絡先：

【参考見積書の提出に係る留意事項】

ご提出いただく見積書は、本学の契約事務の一環として市場調査するための書類です。

したがって、見積書に記載する価格は、契約が困難となるような価格を避けるため、仕様書の内容を十分に精査し、見積書と応札価格に極端な乖離が生じないようにした上で、ご提出くださるようお願いいたします。

また、応札価格は、提出された見積書の価格と同価又はそれ以下となるよう応札願います。（※注）万が一、応札価格が見積書の価格を上回る事態が生じた場合には、本学の適正な契約手続を妨害する不誠実な行為として、取引停止措置を講じる場合があります。

本学で取引停止措置を講じた場合には、他の国立大学法人や国の関係機関（以下「国立大学法人等」という。）にその情報が通知され、これを受けた国立大学法人等においても取引停止措置を講じる場合があることを認識願います。

なお、見積書等必要書類を提出後、合格となった応札希望者は、必ず入札に参加していただくようお願いいたします。（※注）合格となった応札希望者が入札に参加しない場合、適正な入札執行ができない事態が生じる場合があることから、不誠実な行為とみなし、同様に取引停止措置を講じることがあります。

※注 貴社が入札する時点ですでに他社が入札しており、その価格が貴社の提出された見積書の価格より安値であり、当該価格未満での応札が困難な場合を除く。

仕 様 書

1. 調 達 物 品 名 ゲル浸透クロマトグラフシステム 一式
2. 規格及び数量 詳細別紙のとおり
3. 納 入 期 限 令和8年3月23日
4. 納 入 場 所 国立大学法人筑波大学 共同研究棟D301-2プロジェクト室
5. 支 払 い 検査終了後、適法な請求書を受理した日から起算して40日以内に支払うものとする。
6. そ の 他 (1)搬入、設置、調整等1式を含むものとする。
(2)機器の取扱説明書を日本語版で1部提出することとする。
(3)本調達物品は、未使用の新品であることを要件とし、中古品、再生品、展示品等は認めない。
(4)この契約に必要な細目は、国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則及び物品供給契約基準によるものとする。
(5)その他詳細については、本学教職員の指示によるものとする。

1. 調達物品の規格及び数量等

ゲル浸透クロマトグラフシステム

株式会社島津製作所製Nexera GPCシステム 1式(内訳書のとおり)

上記例示品又は同等品若しくはそれ以上のもの

2. 同等品又はそれ以上のもので参加する場合

同等品又はそれ以上のもので参加を希望する者は、あらかじめそれを証する書類を令和8年12月23日(火)17時00分までに提出し、本学が認めた場合のみ参加することができる。

3. 導入目的

本物品は、有機化学系実験等での分子解析に必要不可欠であるため新規に調達するものである。

4. 性能及び機能に関する要件

1.1 装置本体

- 1.1.1 移動相の送液ユニットは、脈動の抑制のために並列ダブルプランジャ方式を採用していること。
- 1.1.2 送液ユニット流量は、0.0001～10.0000 mL/min の範囲で設定可能であること。
- 1.1.3 送液ユニットの流量精密さは、0.09 % RSD 又は 0.03minSD のどちらか大きい値以下であること。
- 1.1.4 送液ユニットの流量正確さは、±1 %以下であること。
- 1.1.5 送液ユニットはポンプヘッド内に気泡が混入した場合の圧力変動を検知し、オートパージによって気泡を排除する機能を有していること。
- 1.1.6 グラジエント濃度正確さは、±0.5%以下であること。
- 1.1.7 脱気ユニットの1流路あたりの容量は 400 µL 以上であること。
- 1.1.8 送液ユニットの許容最大圧力は 40 MPa 以上であること。
- 1.1.9 移動相の残量を、重量センサーを用いて計測することでリアルタイムモニターでき、枯渇の可能性が生じた際にはソフトウェア上で通知され、指定の残量を下回った際には装置を停止できること。
- 1.1.10 オートサンプラの注入方式は全量注入方式であること。
- 1.1.11 オートサンプラの許容最大圧力は 40 MPa 以上であること。
- 1.1.12 オートサンプラのキャリーオーバーは、0.0025 %以下であること。

- 1.1.13 オートサンプラの注入量再現性は、 $RSD \leq 1.0\%$ ($0.5 \sim 0.9 \mu\text{L}$ 注入時)、 $RSD \leq 0.5\%$ ($1.0 \sim 1.9 \mu\text{L}$ 注入時)、 $RSD \leq 0.25\%$ ($2.0 \sim 4.9 \mu\text{L}$ 注入時)、 $RSD \leq 0.15\%$ ($5.0 \mu\text{L}$ 注入時)であること。
- 1.1.14 オートサンプラのサンプルクーラは、 5°C 以下から 40°C 以上の範囲で温度設定可能なこと。
- 1.1.15 オートサンプラのサンプルクーラの温度正確さは $\pm 2^\circ\text{C}$ (センサー部 $\pm 0.5^\circ\text{C}$) 以下であること。
- 1.1.16 オートサンプラのサンプルクーラの温調方式は空気温調方式であること。
- 1.1.17 オートサンプラには 1.5mL バイアルを 160 本以上搭載可能なこと。
- 1.1.18 カラムオープンの温調方式は空気循環方式であること。
- 1.1.19 カラムオープンには、長さ 250 mm までのカラム 6 本以上、又は 300mm までのカラム 3 本以上を収納可能なこと。
- 1.1.20 カラムオープンの温度制御範囲は室温 $-10^\circ\text{C} \sim 100^\circ\text{C}$ であること。
- 1.1.21 カラムオープンの温度正確さは $\pm 0.5^\circ\text{C}$ 以下であること。
- 1.1.22 カラムオープン温度と連携した移動相流量制御を用いたカラム平衡化機能を有していること。
- 1.1.23 カラムオープンの温度精密さは 0.1°C ($\pm 0.05^\circ\text{C}$) 以下であること。
- 1.1.24 フォトダイオードアレイ検出器の波長範囲は 190nm 以下 $\sim 800\text{nm}$ 以上であること。
- 1.1.25 フォトダイオードアレイ検出器の波長正確さは $\pm 1\text{nm}$ 以下であること。
- 1.1.26 フォトダイオードアレイ検出器の波長再現性は $\pm 0.1\text{ nm}$ 以下であること。
- 1.1.27 フォトダイオードアレイ検出器のスリット幅は $1 \sim 10\text{nm}$ の範囲で 2 種類以上選択可能なこと。
- 1.1.28 フォトダイオードアレイ検出器のスペクトル分解能は 1.5 nm 以下であること。
- 1.1.29 フォトダイオードアレイ検出器のドリフトは $0.5 \times 10^{-3}\text{ AU/h}$ 以下であること。
- 1.1.30 フォトダイオードアレイ検出器のノイズは $5 \times 10^{-6}\text{AU}$ 以下であること。
- 1.1.31 フォトダイオードアレイ検出器の直線性は 2.5AU であること。
- 1.1.32 フォトダイオードアレイ検出器の素子数は 1024 であること。
- 1.1.33 フォトダイオードアレイ検出器のセル容量は標準セルの場合 $12\text{ }\mu\text{L}$ 、光路長は 10 mm であること。
- 1.1.34 フォトダイオードアレイ検出器のセル温度は、 20°C 以下から 50°C 以上の範囲で設定可能であること。
- 1.1.35 フォトダイオードアレイ検出器のセル、光学系、ランプハウスが温調されていること。
- 1.1.36 標準カラム(粒径: $10\text{ }\mu\text{m}$ 、本体サイズ: 内径 $\phi 8.0$ 、長さ 300mm) 及びガードカラム(粒径: $8\text{ }\mu\text{m}$ 、本体サイズ: 内径 $\phi 4.6$ 、長さ 10mm) が 2 種組み

込まれていること。

- 1.1.37 本装置用のシステムコントローラ、AD 変換ボードを用意すること。
- 1.1.38 ドレインにはテフロン製電磁弁を用意すること。
- 1.1.39 1.5mL のバイアルプレートを用意すること。
- 1.1.40 上記用バイアル(1.5mL 透明ガラス/ラベル 有 PTFE/シリコンセプタム (スリット無))を 100 個以上用意すること。
- 1.1.41 示差屈折計検出器の測定範囲は 1~1.75 RIU であること。
- 1.1.42 示差屈折計検出器のノイズは 2.5×10^{-9} RIU 以下であること。
- 1.1.43 示差屈折計検出器のドリフトは 1×10^{-7} RIU/h 以下であること。
- 1.1.44 示差屈折計検出器のレンジは $0.01 \times 10^{-6} \sim 500 \times 10^{-6}$ RIU と $1 \times 10^{-6} \sim 5000 \times 10^{-6}$ RIU に対応可能であること。
- 1.1.45 示差屈折計検出器のレスポンスは 1~10 sec、10 段で対応可能なこと。
- 1.1.46 示差屈折計検出器の最大使用流量は 20 mL/min 以上に対応可能であること。
- 1.1.47 示差屈折計検出器のセル部は 30~60 °C の温調が可能であること。
- 1.1.48 示差屈折計検出器のセル容量は 9 μ L 以上、セル耐圧は 2 MPa 以上に対応可能であること。
- 1.1.49 本装置用のリザーバトレイを用意すること。
- 1.1.50 本装置用の SUS パイプ及び配管用の SUS 製配管を用意すること。
- 1.1.51 本装置用の配線キット、電源コードセット、コンセントボックス、工具キット一式を用意すること。
- 1.1.52 1L のキャップ付き移動相ボトルを 5 本以上、またボトルキャップセットを付属すること。
- 1.1.53 地震対策用に 1L 瓶用ボトル固定キット、装置全体用ベルト一式、ベルト固定板、設置固定用台座を用意すること。
- 1.1.54 本装置用の日本語版解析ソフトウェアと、上記用のワークステーション用 PC を用意すること。

1.2 制御/解析用ワークステーション

- 1.2.1 MCR-ALS 法を用いたピークデコンボリューション機能を有していること。
- 1.2.2 スペクトル情報を用いたダイナミックレンジ拡張機能を有していること。

以上

内 訳 書

品 名	規 格	製造会社	数量
ゲル浸透クロマトグラフシステム			1 式
(構成内訳)			
システムコントローラ CBM-40	228-65502-58	(株)島津製作所	1
オプション AD ボード	228-55519-41	(株)島津製作所	1
送液ユニット LC-40D	228-65002-58	(株)島津製作所	2
脱気ユニット DGU-403	228-65018-58	(株)島津製作所	1
オートサンプラ SIL-40	228-65100-58	(株)島津製作所	1
電磁弁、ドレイン用(テフロン製)	228-67723-42	(株)島津製作所	1
バイアル プレート 1.5mL	228-71762-46	(株)島津製作所	2
Shim-vial S 1.5mL,透明ガラス, PTFE/シリコンセプタム,スリット無 100pcs	227-34500-51	(株)島津製作所	1
カラムオープン CTO-40C	228-65202-58	(株)島津製作所	1
示差屈折率検出器 RID-20A	228-65306-58	(株)島津製作所	1
フォトダイオードアレイ紫外可視検出 器 SPD-M40	228-65302-58	(株)島津製作所	1
リザーバトレイ	228-65508-58	(株)島津製作所	1
SUS 配管(ID0.3×600)	228-53184-54	(株)島津製作所	1
SUS パイプ 0.1X600 保守	228-53184-44	(株)島津製作所	2
Nexera シリーズ配線キット,B	228-70247-42	(株)島津製作所	1
電源コードセット,UC-975-N01 長 さ:2.5m	071-60821-08	(株)島津製作所	7
コンセントボックス (JP)	228-65523-41	(株)島津製作所	1
工具キット	228-57647-43	(株)島津製作所	1
移動相ボトル(1L) 5 本セット(キャップ 付)	228-38583-42	(株)島津製作所	1
ボトルキャップセット, GPC 用, GL45	228-77057-41	(株)島津製作所	1
地震対策用ボトル固定キット(1L びん 用)	228-77027-41	(株)島津製作所	1
ベルト一式	228-54756-02	(株)島津製作所	1
地震対策用ベルト固定板	228-77035-41	(株)島津製作所	1
システムベースキット B	228-82805-42	(株)島津製作所	2

LabSolutions LCGC,DB Single LC	223-19250-91	(株)島津製作所	1
LabSolutions LC ワークステーション 用 PC 3 年保証 Office なし	223-19715-91	(株)島津製作所	1
LabSolutions GPC ソフトウェア(日本語版)	223-19189-91	(株)島津製作所	1
標準カラム	KF-805L	(株)レゾナック	1
ガードカラム	KF-G 4A	(株)レゾナック	1

※上記例示品又は同等品若しくはそれ以上のもの

物品供給契約書（案）

供給すべき物品の表示 ゲル浸透クロマトグラフシステム 一式
(詳細は別紙のとおり)

代 金 額 金 円也

うち取引に係る消費税額及び地方消費税額金 円也（消費税法第２８条第１項及び第２９条並びに地方税法第７２条の８２及び第７２条の８３の規定により算出したもので、代金額に１１０分の１０を乗じて得た額である。）

発注者 国立大学法人筑波大学契約担当役財務担当副学長 氷見谷 直紀（以下「甲」という。）と 供給者 （以下「乙」という。）との間において上記物品（以下「物品」という。）について、上記の代金額で、次の条項により供給契約を結ぶものとする。

第 1 条 乙は、甲に対し物品の供給をするものとする。

第 2 条 物品は、国立大学法人筑波大学共同研究棟 D301-2 プロジェクト室に納入するものとする。

第 3 条 物品の納入期限は、令和 8 年 3 月 23 日とする。

第 4 条 納品書（給付完了の通知）は、国立大学法人筑波大学財務部契約課に送付するものとする。

第 5 条 代金は1回に支払うものとし、検査終了後、適法な請求書を受理した日から起算して40日以内に支払うものとする。

第 6 条 代金の請求書は、国立大学法人筑波大学財務部契約課に送付するものとする。

第 7 条 甲は、引き渡された物品が種類、品質又は数量に関して契約の内容に適合しないもの（以下「契約不適合」という。）であるときは、乙に対し、その物品の修補、代替物の引渡し又は不足分の引渡しによる履行の追完を請求することができるものとする。

2 前項の契約不適合の場合において、甲がその不適合を知った日から1年以内にその旨を乙に通知しないときは、甲は、その不適合を理由として、履行の追完の請求、代金の減額の請求、損害賠償の請求及び契約の解除をすることができないものとする。

第 8 条 契約保証金は、免除する。ただし、乙の故意または重大な過失により物品の供給が著しく遅延するおそれがあるときは、甲は、契約を解除することができるものとする。この場合において、乙は契約額の 10 分の 1 に相当する違約金を甲に支払うものとする。

第 9 条 この契約に定めるもののほか、必要な細目は、国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則及び物品供給契約基準によるものとする。

第10条 この契約について検査の円滑な実施を図るため、乙は甲の行う検査に協力するものとする。

第11条 この契約について、甲乙間に紛争を生じたときは、両者協議により、これを解決するものとする。

第12条 この契約に定めのない事項について、これを定める必要がある場合は、甲乙間において協議して定めるものとする。

上記契約の成立を証するため、甲乙は次に記名し印を押すものとする。

この契約書は2通作成し、双方で各1通を所持するものとする。

令和8年 月 日

甲 茨城県つくば市天王台一丁目1番1
国立大学法人筑波大学
契約担当役
財務担当副学長 氷見谷 直紀

乙

【内訳】

品名	規格	製造会社	数量	単価(円)	金額(円)	備考
小計						
消費税額及び地方消費税額						
合計						